



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

セミもおつかれ
9月号

福玉便り

2013年9月5日(金)発行

ふく たま だより

通巻 第16号

発行『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部
編集デザイン:NPO法人ハズオン埼玉 メール:fukutama@431279.com

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部

いまのこと、これからのこと、 一緒に考えて、話し合いませんか?

第2回ママランチ会

～新潟&山形県の避難者交流会の視察報告&支援者発表会～

9月15日(日) 11:30～15:00

場所:別所沼会館ヘリテイジ浦和
中浦和駅より10分



いま、他県に避難している方たちが何を悩み、考え、行動しているのか——意見交換した様子を報告します。いまのこと、これからのこと、一緒に考えて、話し合いませんか?おいしいごはんもご用意します。ぜひ、ご参加ください。(新潟県の視察報告はP3をご参照ください)



【保育あり】要予約(先着30名)

【問合せ】埼玉県労働者福祉協議会
048-833-8731

【主催】埼玉県労働者福祉協議会/
法政大学人間環境学部

【協力】With Youさいたま さいがい・つながりカフェ実行委員会、ここカフェ@川越/福玉便り



『ふるさととは、今』写真展・ 写真家高木成幸さん講演と 詩人熊川多恵子さん朗読会



9月21日～28日(写真展示)

9月21日 13:30～14:30(高木さん講演)
14:30～15:00(熊川さん朗読)

場所:ライフサポートネット21川越

埼玉県川越市中原町2-15-5 フラワービル1階 TEL:049-292-1521

高木成幸さん:福島県浪江町出身のカメラマン。一眼レフを手に放射性物質に汚された浪江町を中心に、ふるさとの今を記録し続けている。

熊川多恵子さん:詩人。震災後に書きためた詩をまとめた「ぼくらのゆくえ」を2012年10月に発行。現在、埼玉県にて避難生活を継続している。

【主催】埼玉県労働者福祉協議会

【共催】ライフサポートネット21川越/With Youさいたま さいがい・つながりカフェ実行委員会/ここカフェ@川越 【後援】川越市



秋も福⇄玉結バス走ります!



●詳しい運行予定(時刻表)および予約については、(一社)埼玉労働者福祉協議会
電話048-833-8731まで。埼玉労働者福祉協議会のホームページにも掲載します。

日	便数	さいたま新都心	加須騎西	西那須高原SA	郡山駅西口	二本松(浪江町役場)	福島駅西口
10月12日(土)	第16便	7:30発	8:40	(朝)10:30 (夜)10:50	11:40	12:20	13:00
	第17便	福島駅西口	二本松(浪江町役場)	郡山駅西口	那須高原SA	加須騎西	さいたま新都心
10月14日(月・祝)	第18便	福島駅西口	二本松	郡山駅西口	那須高原SA	加須騎西	さいたま新都心
	第19便	さいたま新都心	加須騎西	西那須高原SA	郡山駅西口	二本松	福島駅西口
11月2日(土)	第20便	福島駅西口	二本松	郡山駅西口	那須高原SA	加須騎西	さいたま新都心
	第21便	さいたま新都心	加須騎西	西那須高原SA	郡山駅西口	二本松	福島駅西口
11月3日(日)	第22便	さいたま新都心	加須騎西	西那須高原SA	郡山駅西口	二本松	福島駅西口
	第23便	福島駅西口	二本松	郡山駅西口	那須高原SA	加須騎西	さいたま新都心
11月16日(土)	第24便	さいたま新都心	加須騎西	壬生SP	東海PA	スプリット1047ス	いわき駅
	第25便※	いわき駅トラブ前	スプリット1047ス	東海PA	壬生SP	加須騎西	さいたま新都心

コープみらいフェスタ 2013 in スーパーアリーナ

11月2日(土)・3日(日・祝) 10時～16時
さいたまスーパーアリーナ・けやきひろば

被災者の交流会や支援団体、復興に取り組んでいる東北からのお取引先をはじめ、コープ商品のお取引先、産直品生産者など約80社による物産展や親子で楽しめる体験コーナー、コープみらいの事業と復興支援の取り組みを紹介します。ぜひお越しください。詳しくは「福玉だより」10月号でお知らせします。



【主催】生活協同組合コープみらい コープネット事業連合

【同時開催】国際フェア2013 埼玉物産観光フェア/医療生協さいたま健康フェスタ

【問合せ】コープみらい埼玉県本部 048-839-2711(9時～17時 日祝休)

ときがわ キャンパス

8月11日、ときがわ町の気温は37度。とても暑い日となりました。B.B.Q&川遊び大会の様子をご報告します。



り、到着したのは岩からのダイビングポイント！

沢登り&岩からのダイビング！

午前10時。スタッフの皆さんがお風呂ゴハンの準備してくださる間、子どもたちは沢で遊ぶことになりました。

旧大柵第一小学校からてくてく歩くこと30分、沢に到着します。岩と岩の間に足場を見つげながら、全身を使ってさらに沢を登



子どもたちは最初おぼろげ、次第に大喜びで水に飛び込みました。中には、大喜びで水に飛び込む大人も…(！)

小さい子チームは川下の浅瀬で水遊び。魚をつかまえたリ、石投げをしたり、のんびり涼しい時間を過ごしました。帰り際、お母さんに「魚はかえってあげなさい」と言われ、泣く泣く逃してあげた男の子。よほど川が楽しかったのか、「じやあ、お水をもつてかえる！」と言って、お母さんを困らせていました。

B.B.Q&浪江焼きそば&流しそうめん

川遊びの後は、旧大柵第一小学校で、準備してくださっていた、おいしいお風呂ハン。浪江焼きそばは、



あつという間になくなりました。B.B.Qのお肉も大好評。スイカもあり、流しそうめんもあり、流しキュウリもあり…(?)
最後は「雨と雷がくるかもしれない！」とハラハラしながらの片づけ作業となりました。

本当に楽しい一日を過ごすことができました。準備してくださった皆様、本当にありがとうございます！



「あそびのひろば」といって、親子が、遅れて来た友達家族が来た事、うやく「やりたい」という気持ちになったのか、マイペースで楽しんでいました。

かぞびば夏祭り

8月3日、騎西高校で続けられている「あそびのひろば」と合同で夏祭りを開催しました。お祭りという事で、大人の方にも「やってみよう」と「聞いてみると」「夏と言え流しそうめん」「土付きのネギを丸ごと焼いて食べてみたかった」という声。

ます。手作りお神輿を担いでいたのは、前々回のかぞびばから「お祭りだったらお神輿をつくってみたい」と準備していた子たち。他にも水合戦・泥あそび・ティピテントづくり・隣の若草地区のお祭りに行ってみる・ステージで踊りまくる！など、思い切り遊べるプレーパークらしい夏祭りになりました。



涼しくなったら「芋煮会」もいいかもー？やってみよう！とやってみて来ませんか。
毎月第一第三土曜日の10時から15時まで、騎西中央公園でお待ちしています。
加須の冒険遊び場かぞびばは、「子どもの「やってみよう」を思い切りできる見守りながら、大人がどうしたらそれを叶えることができるか、知恵を出し合っていく遊び場です。東北でも、地域の人たちや支援団体によって始められたり、全国でも広域避難者向けや保養の場として利用されたりしています。プレーパークとも呼ばれています。「あれダメこれダメとか貸してって言わせなさい」と気にせず見守り合う雰囲気があるから大人も肩の力が抜けて気持ちがいいです。そんなところ、子育てで窮屈な思いをしているお母さんの息抜きにもなっています。
9月25日(水)午前中キヤッスル騎西にて昨年の4月からこれまでの活動の報告会を開催します。どんなところ？と気になった方は、ぜひ覗きにきてみてください。

彩龍の川まつり

11月16日(土)17日(日)午前10時~午後3時30分
(地下見学の最終入場は午後3時まで)

首都圏外郭放水路地下、多目的広場(龍Q館)

避難者交流テントを設置します。ぜひお越しください。

内容/地下見学(参加費無料・申し込み不要 ※小学生以上)

広場でのイベント(舞踊、ダンス、よさこいソーラン、マジック、歌謡、演芸など)、フリーマーケット、江戸川流域物産展、地元B級グルメ、ミュージックカフェ、手作り凧あげ、防災体験コーナー、Eボート乗船体験など

駐車場/龍Q館に駐車場はありません。公共交通機関・臨時バス(片道100円)等を利用してください。 ※南桜井駅(北口)~龍Q館の臨時バスは、南桜井駅発 発午前9時、龍Q館発最終午後4時です。

主催/水辺の丘運営協議会 問い合わせ/庄和総合支所総務課(048-746-1111)



県外区域外避難(自主避難)のいま

—新潟編—

埼玉以外の県に避難した区域外避難(自主避難)の現状はどうなっているのか。新潟県に行き、お話を伺いました。

(編集部・伊藤)

長岡市にな「ーナ」

7月29日、新潟県長岡市にあるNPO法人「にな、ーナ」を訪ねました。ここでは、2012年4月から「福島サロン」という常設のサロンを福島のお母さんたちが運営しています。開設されてから今まで、様々な催し物をまじえた楽しい交流の場となってきたようです。



お母さんたちによるチャイムの演奏

交流会の合間をぬって、代表の中村順子さん(いわき市より避難)にお話を伺いました。

「『福島サロン』には、ふたつの目的がありました。ひとつは、お母さんたちの楽しい場となること。もうひとつは、長岡市のお母さんに震災・原発災害のことを伝えることです。福玉便り(7月号)でも紹介してもらった『こころのたすき』という冊子も作りました。また、専門の先生を呼んで放射線の勉強会なども行い、長岡市のお母さんたちとも情報共有ができました。

運営は、大変かつ綱渡りなところもありましたが、今日(『福島サロン』最後の



温かい手作りの案内

交流会場である「にな、ーナ」は、中越地震で立ち上がったお母さんたちの団体です。建物は、使用された仮設住宅を移設したものです。入り口も内装も、お母さんと子どもが集う場所らしい、温かい雰囲気でした。

2種類の手作りカレーとおかずをみんなでいただきました。



2種類の手作りカレーとおかずをみんなでいただきました。

日)の区切りまで続けてこれられてほっとしています。」

新潟県内にも20くらい交流会があるようですが、それぞれ地域によって雰囲気が違うそうです。例えば、助産師会、ボランティアセンター、あるいは当事者。内容も様々であるそうです。

「可能ならぜひ『こころのたすき』の埼玉のお母さん版を作ってください、と最後に中村さんはおっしゃってくださいました。」

新潟市「ふりっぶはうす」



「ふりっぶはうす」入口

7月31日には、新潟県新潟市にあるNPO法人「ふりっぶはうす」を訪れました。2011年10月に開設された、新潟県内で避難生活を送る人々の交流、コミュニティ活動、自立支援活動等、新潟県内の避難者支援活動の中心的施設です。築40年の古民家を借りて運営されています。主要バスも近く、集いやすい立地です。コンセプトは「おじいちゃん、おばあちゃんの家」。

2013年8月現在、利用者は、1万2千人を超えているそうです。代表の村上岳志さん(福島市より避難)は3月12日の朝には新潟にいらっしやっていたので、県庁や市役所などに入って、様々な交渉をされていました。交渉と同時に、情報発信もしていたため、次々と訪れる避難者に「この避難所に行けばいいと思う」というようなアドバイス役をやっていたらしいです。



情報コーナー



赤ちゃんスペース

状況の判断を正確にできないか、と村上さんは話します。気持ちや考えがいろいろな方向に揺れても、「自分は今なぜこの選択をしたのか」をちゃんと持っていることが大切ですよーそう、締め括ってくださいました。

驚いたのは、2011年4月の時点で、メールアドレスが千人分ほど増えていたということ。避難される方が続々と新潟に来ていたということ、村上さんが1人で対応されていたことを物語っています。「ふりっぶはうす」には寄贈された絵本やマンガ部屋の中心にたくさんあり、子どもたちがくつろいで読めるようになっています。赤ちゃんコーナーも充実して、ボールプールや滑り台などの遊具もありました。

昨年年度までは預かり保育事業もしていて、子育てママの心のよりどころでもあったそうです。さらにママたちの「内職部屋」まであり、古民家をフル活用されています。新潟県は、警戒区域からの避難者数と、警戒区域外からの避難者(自主避難者)数が1:1です。全国的な縮図であるとも言えるのではないかと村上さんはお話ししてくださいました。また、新潟市は磐越道を通って郡山市から避難された方が多いそうです。福島県の歴史や、地域の特性にも触れて分析をされていました。



「ただいま」と言いたくなる玄関

ひろば 避難中の皆さんの声をお伝えするコーナーです。

高橋美江さん

宮城県石巻市牡鹿から
埼玉県伊奈町へ

宮城県の石巻・牡鹿半島に生まれ育ち、震災前から一人ぐらしでした。地震の当日は、たまたま習い事で、石巻市中心部のカルチャーセンターに出かけていました。水はビルの一階まで下りましたが三階に逃げ足助かりました。激しい地震沈下もあり、半島の先にある自宅までの道路は寸断され、戻れたのは、発災から20日以上、経ってからのことでした。戻ってみると見慣れた風景は全く消え去り、どこが自宅なのかわかりませんでした。玄関のタイルを見つけてようやくそこだとわかりました。犬と一緒だったので避難所にいるわけにもいかず、知り合いの家にしばらく避難しましたが、1ヶ月ほどしたところ息子も住んでいける埼玉に避難してきました。しばらくして上尾市内の公営住宅に入りまし

た。あまりに強い出来事だったせいから、一年ぐらいいは、現実感が持てず、「被災の時

の話をして」といわれたときも、とてもたんたんと話して、不思議がられたりしました。ふりかえると、「現実をそのまま受け入れたらおかしくなる」と感じていたのかもしれない。ずっと気を張っていたのだと思います。すっかりしなくちやと思つて、仕事ばかりしてきたのですが、昨年秋ごろからふとこれを思つたり、何になるのかなと思つたり、そう思つている自分もいやになつたりすることもありました。ちょっとした

震災関連の記事を読んで涙が出たり。最近には、どうしても眠れない時には、お酒も飲んでしまいます。



昨年暮れに新しい家を買った。引っ越しました。もちろん、ふるさとに代りた気が持ちはたかくさんあります。いまから10年後を考へてみたとき、身体も弱り、ひとりで暮らしていくには、車を運転しなくてはならない。交通の便もいいこ

ちらで生きていこうと決めました。家族がいいたら、もつと違う選択になつたかもしれないですね。

震災前から習い事やサークルによく出かけた。仲間もたくさんいました。こちらでも、近所の人に庭で育てたパズルソーイングをもらいます。また、パンケーキやお返しを習つていて、牡鹿に帰ったときに友達と一緒につくられたらと思つています(笑)。

先日、パソコンを買いました。タイピングの練習として毎日『天声人語』を入力しています。歳をとつて行動範囲が狭くなつても、ネットにつながっていたらいろいろな人とコミュニケーションがとれるかなと思つています。

せっかくなので、と決めたのですから、仲間をつくらせて一緒にやっていけることを探して、張りあいをもつて、生きていきたいです。一日日を大切に、誠実に生きていけばきっと結果がついてくると思つています。

(聞き手：西川)

「初の始球式」

キャタピラー・ファインクス株式会社から、7月6日(土)の「埼玉西武ライオンズ」の「埼玉



人生初の始球式

大槻 駿斗

葉口ツテマリオンズ戦に別名を招待いただくました。家族での観戦ということ。西武ドームも大盛り上がり。この日、始球式にマウンドに立ったのは、避難者代表の大槻駿斗(はやと)くん10歳。投げたボールは見事キャッチヤーミットに収まり、その堂々とした姿にドーム中が大きな拍手に包まれました。

ぼくは野球が大好きだけれど上手ではありません。プロ野球の始球式をやらねえかと言った時、すぐに「あ、こゝろをきいてねえ」と返事を返した。試合当日、西武ドームは広々とした客席も満員でおどろいてしまいましたが、ライオンズの選手にキャッチボールをやらせてくださいました。西武ドームに入るとき、選手がしゃべっていたのは、埼玉の方言で「おや、おや、おや」といって、おどろいていました。ライオンズの選手にキャッチボールをやらせてくださいました。西武ドームに入るとき、選手がしゃべっていたのは、埼玉の方言で「おや、おや、おや」といって、おどろいていました。ライオンズの選手にキャッチボールをやらせてくださいました。



日時:10月26日(土)ふるさと新座館ホール(新座市野火止6-1-48)
第1部(午後の部) 13:00開場13:25開演
13:30~15:10『フタバから遠く離れて』上映
15:20~16:20 井戸川克隆・元双葉町町長トーク
第2部(夜間の部) 18:00開場 18:25開演
18:30~20:10『フタバから遠く離れて』上映
20:20~21:00 船橋淳・監督トーク
参加費：一般1,000円被災されている方ご招待学生・障がいのある方500円
連絡先：震災支援ネットワーク・新座 090-2402-9155(谷森)
090-5534-3730(加藤)090-9290-4853(広瀬)

ドキュメンタリー映画上映会 科学技術映像祭特別奨励賞受賞作品
「3.11 その時、保育園は」

監督：伊藤義将(仙台市出身上尾市在住)
日時:9月14日(土)13:30-
会場：上尾シラコバト団地 24号棟第一集會室
第一部； 13:30~ 映画上映会 休憩有
第二部； 15:00~ 作品説明・質問
第三部； 16:00~ 伊藤監督との懇親会
入場無料。駐車場有。24号棟前広場。
懇親会での飲み物軽食は用意します。
主催：上尾シラコバト団地被災者の会ひまわり
協力：合同会社映像工房たまき、上尾にまちの映画館をつくる会、上尾シラコバト団地自治会
問合せ：シラコバト団地自治会048-774-6323/
橘(たちばな)080-3091-6215

熊谷合宿

8月、埼玉県熊谷市のお寺で合宿をする郡山市の中学生が、埼玉バスで埼玉県を訪れました。中学生自身が震災・原発事故をどう捉えているか話し合う、「こゝろをきいてねえ」の話し合いという「じゃべり場合合宿」です。

途中、加須ふれあいセンターでランチ(ドライカレー)を食べ、近所の農家さんから、梨とスイカをいただきました。



福島映像祭 2013

9月14日(土)～20日(金)、映画館ポレポレ東中野とSpace&Cafeポレポレ坐では、「福島映像祭2013」を開催いたします。福島にまつわる映像はたくさん目にしますが、いまもって映像からその全体像をつかむことはできません。それは、当然のことながら簡単に捉えきれないたくさんの現実や、暮らしや、思いが進行形であるからに違いないと考えています。それでも多様な映像を見ることにより、その現実の思いを馳せる時間を持ち続けたいとスタートした企画です。映画館では福島の民放のテレビ番組、ドキュメンタリー映画の上映、スペースでは一般の方から公募した日常的な映像の展示上映や、映像の製作者、出演者をゲストに招いたイベントを行います。また、事故当時の東電テレビ会議映像も、トーク付で特別上映いたします。福島にまつわるあらゆる映像を集めた映像祭、ぜひご来場ください。(Space&Cafeポレポレ坐/中植)

■ 開催日：9月14日(土)～20日(金)

【特別上映】会場：ポレポレ東中野、Space&Cafeポレポレ坐

■ 東電テレビ会議

(4時間編集版・ゲストトーク有)
映像提供：東京電力 編集協力：木村英昭(朝日新聞特別報道部)「プロメテウスの罠」
編集／製作：Our Planet TV

■ 飯館村わたしの記録

撮影：長谷川健一 構成・編集：細谷修平
製作：Our Planet TV

【テレビ】会場：ポレポレ東中野
※テレビ映像は複数作品で1プログラム上映予定

■ Fukushima Reporters ～Keep the Cameras Rolling

～福島を伝える者たち～カメラを回し続ける

製作：Autentic、(株)きさくや、福島中央テレビ
ディレクター：パトリック・ホルム、松本圭(2013年 / 50分)

■ 原発水素爆発 わたしたちはどう伝えたのか

制作：福島中央テレビ
ディレクター：小林典子(2011年 / 47分)

■ それでも希望のタネをまく ～福島農家2年めの試練～

制作：テレビユー福島
ディレクター：深谷茂美(2012年 / 50分)

■ 闘う先生

制作：福島放送
ディレクター：高橋良明(2012年 / 46分)

■ 母とともに 避難区域に灯る一つの明かり

制作：福島テレビ
ディレクター：石山美奈子(2013年 / 54分)

【映画】会場：ポレポレ東中野

■ 福島生きものの記録

監督：岩崎雅典
2013年 / 日本 / 76分



■ Welcome to Fukushima 福島へようこそ

監督：アラン・ド・アルー
2013年 / ベルギー / 59分

■ 霧の向こう *Yonaoshi 3.11

監督：ケイコ・クルディ
2012年 / 日仏合作 / 101分

■ BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW

監督：前田真二郎ほか
2011年-2012年 / 日本 / 63分

■ 天に栄える村

監督：原村政樹
2013年 / 日本 / 100分



【公募映像】会場：Space&Cafeポレポレ坐
事故直後、携帯電話やスマートフォンを片手に、まわりの出来事を咄嗟にカメラにおさめたもの。変わってしまった些細な日常を切り取ったもの。福島からは遠い地で、福島への思いを表現したもの。各地で沸き起こる再稼働に対する人々の怒りを捉えたもの。福島の子どものための運動会や暮らしの風景。あらゆる映像を対象に広く一般に募集し、上映いたします。応募申込はこちらまで→ <http://fukushimavoicenet/fes>

【イベント】

各作品の製作者、福島在住の農家の方などをゲストに招いたイベントも企画中。乞うご期待！

■ 料金 ※ポレポレ東中野での上映 前売：三回券3600円、フリーパス(10枚限定) 10,000円 / 当日：一般1500円、シニア1300円、大專1000円、高中700円 / 東電テレビ会議、テレビ作品の一部のみ別料金(三回券・フリーパス使用可)

■ 主催：OurPlanetTV 共催：ポレポレ東中野 / 早稲田大学大学院ジャーナリズムコース

■ 会場：ポレポレ東中野 / Space&Cafeポレポレ坐 東京都中野区東中野4-4-1ポレポレ坐ビル地下1階 TEL 03-3371-0088 JR東中野駅ホーム北側線路沿い

芸術の秋が近づいてきています。「ワンコイン」ではないのですが、今号では川越市にある昔懐かしい雰囲気「川越スカラ座」をご紹介します。福玉限定・お得情報もあります♪(編集部・伊藤)



■ 川越スカラ座

住所：埼玉県川越市元町1-1-1 電話：049-223-0733
東武東上線「川越市」駅より徒歩20分

川越スカラ座は、川越市役所から徒歩3分ほどのところにある、昔風情の映画館です。駅からは少し遠いので20分ほど歩きますが、川越の蔵作りの町並みを散歩がてら歩くと、それほど苦にはなりません。

歴史は古く、明治38年に開業した寄席

が発祥。平成19年に休館を余儀なくされますが、その後、NPO法人プレイグラウンドに経営が譲られ、再オープンさせた・・・という歴史があります。

一步入ると、そこは昭和の風情が漂います。上映される映画も、ミニシアター系で味わい深いものばかりです。お勧めは10月の《ナツカシ》。この《ナツカシ》上映期間は、特別料金となり、2本で800円です。

今回、スカラ座さんのご好意で、この「福



玉便り」を持って行くと、飲み物をサービスして下さることになりました。

お出かけの際は、ぜひ、「福玉便り」をお持ちください。

●9月14日～27日
「きつとうまくいく(インド)」
「スタンリーのお弁当箱(インド)」

●9月28日～10月10日
「パパの木(フランス)」
「『また、必ず会おう』と誰もが言った(日本)」

●10月12日～16日
《ナツカシ》成瀬巳喜男 傑作選
「乱れ雲(1967年)」
「浮雲(1955年)」
「おかあさん(1952年)」
「めし(1951年)」
※上映時間など詳細はホームページか、お電話でお問い合わせください。



原発事故子ども・被災者支援法のいま

(※河崎健一郎弁護士の「子ども・被災者支援法をめぐる裁判は何を訴えているのか」というYahoo!ニュースの記事を、ご本人の許可をいただいで要約させていただきました)

2013年8月22日、子ども・被災者支援法の早期具体化を求める裁判が、東京地方裁判所にて提起されました。原告は福島県内の方、県外への避難者など、19名。

今回の訴訟のテーマとなっている「原発事故子ども・被災者支援法」は昨年6月の国会で、全会一致で成立を見た、いわゆる超党派の議員立法です。

重要なのはこの法律が、放射性物質による放射線が人の健康に及ぼす危険について科学的に十分に説明されていない(第1条)という認識に立った上で、

支援対象地域における居住、他の地域への移動及び移動前の地域への帰還についての選択を自らの意思によって行うことができるよう、被災者がそのいずれを選択した場合であっても適切に支援する(第2条第2



河崎健一郎(左)氏

と定めている点です。安全とも、危険とも言い切れない「グレーゾーン」を国家が正面から認め、一人ひとりの「被ばくを避ける権利」を認めたものです。

また、原発事故の被災地で生じている深刻な分断と対立の構図を乗り越えていくための、一つの方法論を提示したところにも、大きな意味があります。

法案の多くが、入念な準備や関係者との調整が可能となる「内閣提出法案」として国会に提出されますが、「議員立法」として成立したこの法律は、行政各部への事前の入念な根回しなど行われず、予算確保のための壁となる、財務省の了解も得られていませんでした。

しかし、だからといって行政府が法律を一年以上も無視する、そんなことで良いのでしょうか。

国民(主権者)の代表である国会議員の総意を踏みにじるということは、国民(主権者)である私たち自身か。

踏みこじられていることを意味します。

この訴訟は、直接的には子ども・被災者支援法の基本方針の早期策定を求めるわけですが、同時に「この国の主権者は誰なのか」という問題提起にもつながるものではないかと私は考えています。

訴訟は、3つの筋(請求の趣旨)で構成されます。

(1) 政府が支援法に基づく基本方針を定めないと違法であることを確認する。〔違法確認〕

(2) 各原告が支援法に基づく各支援策を受ける地位にあることを確認する。〔地位確認〕

(3) 国は原告らに対しそれぞれ1円を支払え。〔国賠請求〕

分断と対立の構図を乗り越えていく契機としての子ども・被災者支援法の正面からの実施を求める今回の訴訟が、意味付けられるのではないのでしょうか。

支援法の基本方針が発表されました ぜひ当事者の声を送ってみてください

上記の訴訟の直後、2013年8月30日、復興庁は、「原発事故子ども・被災者生活支援法」実施のための基本方針をようやく発表しました。

支援対象地域として発表したのは、福島県内の**33市町村**。「福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、郡山市、須賀川市、田村市(一部)、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町、白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、埴町、鮫川村、相馬市、南相馬市(一部)、新地町、いわき市」。また、施策ごとに「準支援地域」とする」という案を発表しました。

ようやく動き出したかに見える基本方針ですが、問題点も多々あります。

被災者・支援者の声がほとんど反映されていないこと。

「支援対象地域」の範囲が福島県のみ限定されていること。

支援対象地域で受けられる具体的施策が明確に示されていないこと。「準支援対象地域」は既存の政策の適用地域を呼び換えただけであること。

また、ほとんどの施策が、今年3月に復興庁が公表した被災者支援パッケージと同様、**既存の**

施策の寄せ集めになっており、「帰還」のみを促している印象があります。

さらに、健康分野では、幅広い疾病の可能性に対応した健診の拡充は含まれていません。また、県外の「健康管理調査」に至っては「有識者会議」による検討だけとされています。

残念ながら、支援法の目的や理念は無視されている印象があります。

インターネットで、パブコメ(注)を、9月13日まで募集するということです。この期間があまりにも短いことも、問題としてあげられています(2週間)。ぜひ、みなさんの声、お考えを送ってみてください。

注:パブリック・コメントとは

公的な機関が規則あるいは命令などの類のものを制定しようとするときに、広く公に(IIパブリック)に、意見・情報・改善案など(IIコメント)を求める手続をいう。公的な機関が規則などを定める前に、その影響が及ぶ対象者などの意見を事前に聴取し、その結果を反映させることによって、よりよい行政を目指すものである。通称パブコメ。

全文はこちらです。 <http://bylines.news.yahoo.co.jp/kawasakikenichiro/20130822-00027449/>



きつと乗り越えられる……

川原光義さん 福島県福島市 さくら仮設住宅自治会長

絆の力

双葉町の賠償問題にとつて、重要な町の線引きが始まりました。双葉町の土地評価額で金額が確定されても、地価が違う福島市内、いわき市には家は買えないです。よしね。まして若い子ども夫婦が避難している首都圏ではなおさらのことです。



しかし一方では、消費税が上がる前に、仮設住宅から出て家を購入することを判断する方々もいて、この仮設住宅から少しずつ人が減っているのも事実です。32世帯の仮設住宅ですが今は27世帯

断する方々もいて、この仮設住宅から少しずつ人が減っているのも事実です。32世帯の仮設住宅ですが今は27世帯

双葉町の力

仮設住宅には、80歳以上の親を面倒見ながら、この仮設で避難生活をしている

方もいます。一方で、他県に避難されている町民もいることも事実です。町民それぞれが、いろいろな考え方になることは仕方ないことだと思つていきます。しかし、それぞれの避難所で、何とか自分の力でこの災害に打ち勝つて自活しようと四苦八苦している町民が沢山いることをバラバラになつた双葉町民に伝えたいと思つています。双葉町は大変な状況にあることは事実です。本当に困つて、前に進めないで苦しんでいる人もいます。でも、ちょっと自分の努力で、考え方を考えることによって、新しい世界



が広がつていくことも事実だと思つていきます。大震災で大変なことに遭遇したのが双葉町民が同じですよね。そこをどうとらえてどう生きていくかを考えていくのはそれぞれの人の考え方次第です。この災害を自身の糧にしようとするか、あるいは神様がその人に与えた「自由」です。幸いなことに、この仮設の方は必死で自力で生きようとしている。縁あつて、偶然にもこの佐倉という地域で、双葉で生きてきた町民が前に向かつて歩もうとするこの役に立つならと思つて自治会長の任務を引き受けています。双葉町民は、この災害に打ち勝つていく力があると信じています。

避難者ダイヤル

おなやみ-ないひなん

0570-078-717

月曜・水曜・金曜15:00~21:00

あなたも一言!

避難生活上の不满、悩み、お困りごとなど、なんでもあなたの一言をお話し下さい。専門家が丁寧にお聞きします。

避難生活でのお困りごと、モヤモヤ、過去のこと、今のこと、これからのこと…ゆっくり話してみませんか。避難生活をおくるうえでの不安・お困りごとに広く対応致します。避難者の方だけでなく、そのご家族、被災地出身の方、避難者支援をしている方々からの代理電話相談も可能です。平成25年3月31日まで常設でお電話いただけるようにいたしました。

主催 震災支援ネットワーク埼玉

福玉便りのお届け作業を一緒にやったださる方、大募集

10月2日(水)

13:30-16:00ごろ

可能な時間でOKです。

場所:埼玉労福協



福玉便りの発送は、編集部の方々がばたばたやっています。手も動かしますが、口のほうが多く動いていると言われていす。もし、一緒に作業して下さる方がいらっしゃいましたら、超うれいすです。謝礼は若い原田編集員による肩もみ、とお茶とお菓子(たぶん)ご連絡おまちしています。

埼玉労福協048-833-8731まで。

ありがとう ありがとうございます!

本誌の印刷は、『富士ゼロックス埼玉端数倶楽部』(社員ボランティア)の皆様にご協力いただいております。

「赤い羽根共同募金の災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ポラサポ)の助成金をいただき、発行しています。



【お願い】ぜひ、みなさんの声を編集部にお聞かせください!!!

作業してあります。最後に……

「福玉便り」は、編集部です。その⑥
「福玉便り」って、どんな人がつくっているのですか?という声にお応えして、編集部の方を顔面をご紹介いたします。
ハンスオン埼玉 西川正
「福玉便り」は、「名ばかり編集長」の西川です。上尾市在住。福玉便り編集委員会構成団体のNPOハンスオン埼玉で活動しています。編集部では主に、原稿の催促とレイアウトを担当しています。
あ、ちなみに趣味は↓
「カブリモ」制作です。
実家は、滋賀県北部・若狭湾に近い美しい里山で、高齢の母が今も田んぼで米をつくっています。母がもし突然、都会に住むことになったら「何にもすることがあらへん」と嘆くこと間違いなし。慣れない場所に住むこと、仕事がないこと……みなさんのお気持ちはどんなものだろう、と想像したりしています。また、原発事故直後、まだなにもわからなかった頃、念のため娘二人を実家に送りましたが、その時のいろいろな気持ち(過剰反応だと言われるかもとか)は今も忘れられません。なので、どんな選択・決断も誰も否定できないものであり、尊重されてほしいという気持ちで編集作業してあります。最後に……

月	火	水	木	金	土	日	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
		<p>■加須市 簡単な作品を作ります! 9:30~11:30 旧騎西高校生徒ホール 080-601-3111 (With Youさいたま)</p> <p>■鳩山町 鳩の集い 10:00~12:00 JAXA鳩山宿舎108号室 049-296-1241(鳩山町健康福祉課)</p> <p>■杉戸町 つつじの里サロン 毎週木曜★ 13:30~15:30 杉戸住宅6-301 0480-31-0055 (つつじの里サロン事務局)</p> <p>■加須市 おしゃべりサロン 毎週木曜★ 15:00~16:00 旧騎西高校生徒ホール 048-864-1749 (コープみらい・福岡さん)</p>	<p>■鴻巣市 <想い>鴻巣市役所との行政懇談会 11:00~ 鴻巣市民センター 345shinohara@ezweb.ne.jp (篠原さん)</p>	<p>■上尾市 シラコバト団地被災者の会 ひまわり 10:00~12:00 シラコバト団地集会所 048-774-6323 (団地自治会事務所) 080-3091-6215 (橘さん)</p> <p>■加須市 かぞびば プレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)</p> <p>■さいたま市 梅原司平復興支援コンサート 13:30~ さいたま市文化センター 048-833-8731 (埼玉県労福協)</p>	<p>■坂戸市・鶴ヶ島市・川崎市 こまカフェ 埼玉県協同病院・雪田慎二先生を招いた座談会 10:00~北坂戸駅前「オルモ」和室(駐車場有) 070-6651-9259 (伊藤さん) ※参加される方は事前にご連絡ください!</p> <p>■富士見市 お茶のみ交流会 10:00~12:30 ふじみ野交流センター 049-251-2711 (富士見市安心安全課)</p> <p>■羽生市 羽生つながりカフェ 11:00~15:00 パープル羽生2階和室 048-561-1681</p>		
9	10	11	12	13	14	15	
	<p>■杉戸町 指一本でもできるパソコン教室 月3回水曜★ 10:00~12:00 JWAデイサービスすぎと 0480-31-0055 (つつじの里サロン事務局)</p>	<p>■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYouさいたま4F和室 048-601-3111</p> <p>■草加市 つながりの会 東北復興支援販売 10:30~18:00 物産・観光情報センター★★★</p>		<p>■上尾市 向原団地被災者の会 交流会 18:00~向原団地集会所 090-5847-7089(富永さん)</p> <p>■新座市 新座さいがい・つながりカフェ 13:00~16:00 国家公務員宿舎1号棟1階集会所 090-2402-9155 (谷森さん) 080-6023-2799 (福地さん)</p> <p>■上尾市 映画上映会「3.11のとき、保育園は」 13:30~ シラコバト団地集会所 080-3091-6215 (橘さん) 詳細は4ページ</p> <p>■加須市 あそびのひろば 10:00~12:00 旧騎西高校・第一体育館 048-864-1749 (コープみらい・福岡さん)</p>	<p>■越谷市 ひだまり広場 12:30~16:30 ほっと越谷 090-5829-6670 (矢澤さん)</p> <p>■さいたま市 第二回 ママランチ 別所沼会館 11:30~15:00 (埼玉県労福協) 詳細は1ページ</p> <p>■さいたま市 福玉・謡曲の会 10:30~12:00 With Youさいたま4階 080-5532-7380 (薄井さん)</p>		
16	17	18	19	20	21	22	
	<p>■春日部市 春日部 つながりカフェ 13:30~16:00 コーププラザ春日部2F第1会議室 048-829-7400(SSN) ★★★</p> <p>■川口市 ひまわりの会 10:00~南鳩ヶ谷やすらぎ会館 080-5431-0123 (島田さん)</p> <p>■鳩山町 鳩の集い 10:00~12:00 JAXA 鳩山宿舎108号室 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)</p>		<p>■さいたま市 大宮アルディージャ vs ベガルタ仙台 16:00キックオフ NACK5 スタジアム 048-833-8731 (埼玉県労福協)</p> <p>■加須市 かぞびば 10:00~15:00 騎西中央公園 (谷居さん)</p> <p>■川崎市 『ふるさと、今』写真展 高木さん講演会&熊川さん朗読会 (ライフサポートステーションネット21川越) 詳細は4ページ</p>			<p>■越谷市 一歩会 越谷市民まつりパレードに参加 9:30に東越谷第2公園集合 090-1773-9542 (関根さん)</p> <p>■ふじみ野市 おあがんなんしょ 定例サロン 13:00~16:00 フクトピア 090-5345-8408 (松館さん)</p> <p>■さいたま市 つながろう!放射能から避難したママネットの埼玉 パワーストーンプレストを作りましょう♪ 13:00~18:00 コーププラザ浦和(保育あり) 参加費1家族500円 ※要予約、9月10日まで mamamet.saitama@gmail.com (木村さん)</p> <p>■所沢市 青空あおぞら絵手紙教室&交流会 13:30~16:00 新所沢公民館 090-3960-8089 (岡田さん) 090-8424-9797 (渡邊さん)</p>	
23	24	25	26	27	28	29	
	<p>■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYouさいたま4F和室 048-601-3111 ★★★</p>						
30	1	2	3	4	5	6	
				<p>■上尾市 シラコバト団地被災者の会ひまわり 10:00~12:00 シラコバト団地第二集会所 048-774-6323 (団地自治会事務所) 080-3091-6215 (橘さん)</p>			
7	8	9	10	11	12	13	
		<p>■草加市 つながりの会 東北復興支援販売 10:30~18:00 物産・観光情報センター</p> <p>■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYouさいたま4F和室 048-601-3111 ★★★</p>		<p>■上尾市 向原団地被災者の会 交流会 18:00~向原団地集会所 090-5847-7089 (富永さん)</p> <p>■新座市 新座さいがい・つながりカフェ 13:00~16:00 国家公務員宿舎1号棟1階集会所 090-2402-9155 (谷森さん) 080-6023-2799 (福地さん)</p>	<p>■羽生市 羽生つながりカフェ 10:00~15:00 パープル羽生フェスティバルにて写真展を開催 048-561-1681</p>		
14	15	16	17	18	19	20	
		<p>■川口市 ひまわりの会 秋のお散歩サロン 10:00~川口市グリーンセンター 080-5431-0123 (島田さん) ★★★</p> <p>■春日部市 春日部つながりカフェ 13:30~16:00 コーププラザ春日部2F第1会議室 048-829-7400(SSN)</p> <p>■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYouさいたま4F和室 048-601-3111 ★★★</p>			<p>■ふじみ野市 おあがんなんしょ 野外レク in 森林公園 パーベキュー&森林浴 (詳細は次号) 090-5345-8408 (松館さん)</p>		
21	22	23	24	25	26	27	
				<p>■新座市 「フタリから遠く離れて」上映会 第1部 13:25~ 第2部 18:25~ ふるさと新座館ホール 詳細は4ページ</p> <p>■草加市 つながりの会 江戸東京博物館へのバス旅行 048-941-6111 (草加市消費労政課)</p>			<p>■熊谷市 ふるさと交流サロン 日時・場所調整中</p>
28	29	30	31				



こちらのサイトにも情報が 있습니다。
しんさいつなぐ
<http://431279.com>
(SSN: 震災支援ネットワーク埼玉)

福玉・便り お送りします。
ご希望の方には、本紙を郵送でお送りします。

『福玉・便り』編集委員会
連絡先: (一社)埼玉県労働者福祉協議会
電話 048-833-8731
メール: fukutama@431279.com

